

# 師走

田丸 あけみ

今年も残すところ一ヶ月となり、気忙しい師走の時期となりました。

今年の2月頃、ニュースで流れた「保育園落ちた」の報道をきっかけに、待機児問題や保育士不足問題がクローズアップされました。保育園に入園できず困った親の声が大きな反響を呼びました。希望する保育園へ預けたくても預けられない現実、保育士が不足している現実、今、大きな社会問題です。

国は急遽の対策として、待機児童解消加速化プランを打ち出していますが、問題解決には至っていません。企業内の施設やビルの中、公園の中にも保育園を作る動きが大きくなりつつあります。私は、待機児問題解消は大きな課題だけど、保育園を増やす事ばかりに目が行き、子どもの育ちを保障する保育の質が低下しないかという事を危惧します。

そして、保育士不足も深刻と言われている今です。私の友人にも保育士資格を持っている人は多くいますが、ほとんどの人が保育園で働いていないのが現状です。しかし、こういう問題が多くありますが、保育士という職を軽視されていた時代が過去にあり、“保育士という仕事、保育園の重要性”にスポットライトが当たった事は、大きな出来事でした。人の育ちで大切な事は何か？を考え続ける保育士という仕事に責任と誇りをもちこれからも進んでいきたいと思えます。

アトム共同保育園の2016年を振り返ると、やはり一番は、子ども達が元気に保育園で生活をしている事が何より嬉しい事です。年が明けると5歳児は、卒園まであつという間ですが、どっぴりと遊びこめる残り少ない保育園生活を思う存分に過ごしてほしいと願います。ある日、5歳児の子どもが体調不良でお休みをした時、家で「早くアトムに行きたい、みんなと遊びたい」と言っていたそうです。

アトムで過ごせるのもあと少しですが、卒園してもアトムはいつでも来れる場所、“第二の我が家”なのだと感じてもらいながら、卒園を迎えてほしいなと思えます。

2017年もどうぞ、よろしくお願ひします。

## \*祖父母交流会を行いました\*

今年度2回目となる祖父母交流会を11月19日に行いました。当日は雨天にもかかわらず80名近い祖父母の方の参加がありました。今回は、普段子ども達が園でどのように過ごしているか、日常の風景を参観してもらい、残りの1時間は、交流会という形で行いました。祖父母の方の話をお聞きしていると、娘や息子、孫を思う気持ちがとても温かく伝わってきました。そして、他の祖父母の方の話を聞きながら、気持ちに、共感したりや、自分と同じで安心したりしている祖父母の方が多くおられたのが印象的でした。祖母の方が、「いろんな方のお話を聞き、自分の子育てや孫育てを振り返られる貴重な時間を頂けたことに感謝している」と言って頂き、嬉しく思いました。他にも「自分の子育てを振り返ると当時は必死だったが、今は、時間にゆとりができ、ゆっくと孫と関わりをもつのが自分の役目だと思っている」「今、子育て真っ最中の娘や息子は、大変な時だけど頑張れという思いでいる。私に出来る事は助けてあげたい」など、皆さん、子育てを応援する温かい感想ばかりでした。

本当にお忙しい中、また、遠方からもお越し頂きありがとうございました。